

1389年 ユーゴスラヴィア・バルカン連合軍(セルビア等) VS オスマン朝の侵襲

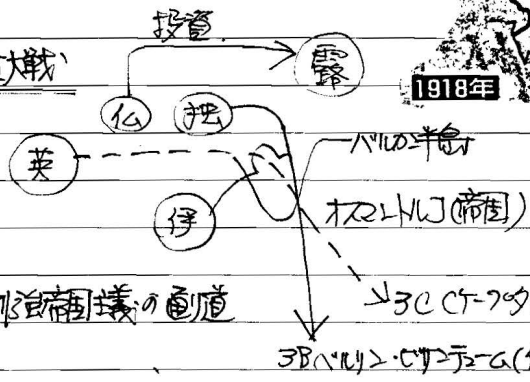
戦争敗北。セルビアの民族叙事詩で「現世の王国は天上の王国へ」の叫びが聞かれた

→近代民族主義のルーツ



19世紀初頭

I大戦



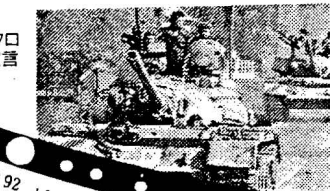
オスマン朝から
1878年 セルビア、モンテネグロが
王国として独立 (セルビアの軍力)
1914. 6. 28 オーストリア・ハンガリーがセルビアに暗殺 → I大戦へ
セルビアに暗殺 → I大戦へ
(オーストリアのサラエボ攻撃)
1918年 セルビア・クロアチア・
スロベニア王国成立 (ドイツ・オーストリア敗北)
1929年 ユーゴスラビア王国に改称
アルクサンダル国王独裁制(憲法停止)民族主義的抵抗続く
1939年 第2次大戦開始
1941年 ドイツ軍が侵攻

1945年 ユーゴスラビア連邦人民共和国宣言
53年 チトー大統領就任
63年 ユーゴスラビア社会主義
連邦共和国に改称
80年 チトー
大統領死去



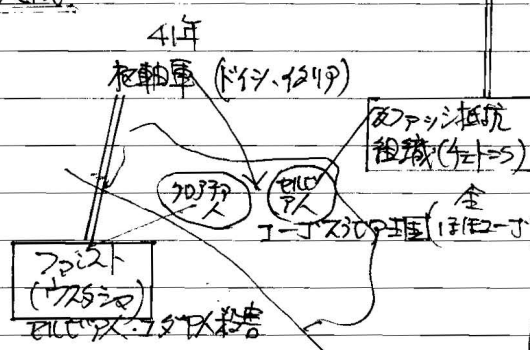
チトー大統領

91年5月 スロベニア、クロ
アチアが独立宣言



クロアチアの首都ザグレブ
に向かう戦車隊のロケット

II大戦



チト等
もともとオーストリアに抵抗運動
41年 枢軸軍の侵襲と反抵抗組織
再形成
反ファシズム抵抗組織
ハルチツェ(チト)
反ファシズム抵抗組織
反ファシズム抵抗組織
反ファシズム抵抗組織



スlobodan クロ
アチア大統領



ミロセビッチ・セルビア大統領

4月27日 セルビアとモンテネグロがユー
ゴスラビア連邦共和国を結成しユーゴ
3月 国連平和維持軍がユーゴ解
3月 ボスニア・ヘルツェゴ
ビナが独立宣言
92年1月 ECがボスニア・
クロアチアの独立承認
93年 欧州連合が
調停委員会(CEPRIC)を
設立し、紛争解決
を促進

II大戦後

チトによる民族の同化政策 → 後チト(旧ユー
グ)の社会主義(労働者自治管理)による経済・社会建設

94.10.2 曜日

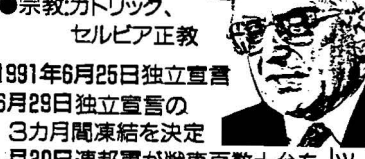
ユーゴスラビアの各共和国と民族構成

は連邦軍が占拠したクロアチア共和国の領土

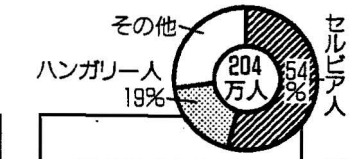
スロベニア共和国 GNP/1人
●宗教:カトリック 9840ドル
1991年6月25日独立宣言 (97)
6月28日EC調停で停戦成立。独立宣言の3カ月間凍結を決定
7月7日EC仲介、停戦監視団受け入れなどで合意(プリアニ合意)
7月18日連邦幹部会、スロベニアからの連邦軍撤収を決定



クロアチア共和国
●宗教:カトリック、セルビア正教
1991年6月25日独立宣言
6月29日独立宣言の3カ月間凍結を決定
9月20日連邦軍が戦車百数十台を含む大部隊でクロアチアへ進攻
9月22日連邦軍とクロアチア、停戦で合意。その後も戦闘続く
●クロアチア側の死者は411人(同共和国国防省調べ、24日まで)



ボスニア・ヘルツェゴビナ共和国
●宗教:イスラム教、セルビア正教
GNP/1人 (97) 4080ドル

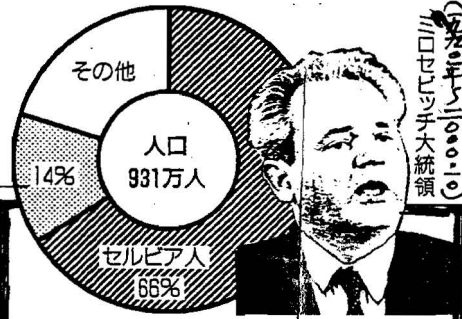
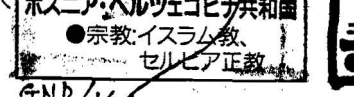


ボイボジナ自治州
●宗教:セルビア正教、カトリック

セルビア共和国 (2自治州を含む)
●宗教:セルビア正教
GNP/1人 1510ドル (97)

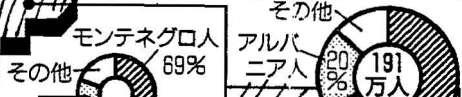


モンテネグロ共和国
●宗教:セルビア正教
GNP/1人 1100ドル (97)

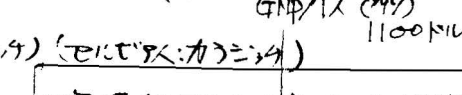


●宗教:セルビア正教

コソボ自治州
●宗教:イスラム教、セルビア正教
GNP/1人 1510ドル (97)



マケドニア共和国
●宗教:マケドニア正教
GNP/1人 1100ドル (97)



ミロセビッチ大統領

19年 東ヨーロッパ諸国社会主義政権崩壊

91年 ソ連邦解体 → CISへ

91年 6. スロベニア、クロアチア独立宣言。マケドニア独立宣言。

92年 4. ボスニア・ヘルツェゴビナ独立をECが承認

3. 新ユーゴ(セルビア+モンテネグロ)

ボスニアと新ユーゴの内戦 → 5月、国連安保理、ボスニア内の

人勢力の両方と理由に新ユーゴに経済制裁決議

95年 8月 ボスニアヘルツェゴビナに NATO空爆、クロアチア軍も攻撃

96年 9月 欧州安全保障協力機構の監視下でボスニア統一選挙

98年 9月 セルビア治安部隊 コソボ解放軍の弾圧抑圧作戦

99年 3月 NATO軍(アメリカ軍)空爆

ユーボ国連安保部隊派遣

10月 ミロセビッチ政権崩壊

コソボシリア大統領

●92年8月 セルビア+モンテネグロ=ユーゴスラビア連邦共和国(=新ユーゴ)

——バルカン歴史——

1169年 セルビア・ネマニッチ王朝
 =大セルビア王国=
 1389年 南スラブ連合軍 オスマン帝国
 に敗北 (コソボ戦い) → 500年間 HCBの支配下
 1878年 セルビア・モンテネグロ王国
 HCBから独立
 1913年 第2次 バルカン戦争
 バルカン戦争

70年代 外債の積極導入

79年 OECD = NICs (新興工業諸国)

A・NICs
 (LA・NICs)
 E・NICs
 フィリピン、インドネシア、タイ、韓国、シンガポール

80年代末には
 ・200億ドルの累積債務
 ・インフレ率 1000%
 ・失業率 =

= 経済の南北格差 =

(スロベニア 8200ドル (1人当りGDP)
 オーストリア 2454 " "
 セルビア 980 " "
 スロベニア 860 ")

I大戦 1914年6月28日

オーストリア皇太子の暗殺
 オーストリア・ハンガリー帝国の皇太子(フランツ・フェルディナンド)
 セルビアの青年に暗殺された

3B政策
 トイシ
 オーストリア
 ハンガリー
 帝国
 = スロベニア
 ハンガリー
 ア
 X
 セルビア
 モンテネグロ
 (英仏)

3C政策 1989年 東欧革命 バルカンの崩壊 (90年代以降)

拒絶
 → 1918年 セルビア・スロベニア・クロアチア王国
 ユーゴスラビア王国と改称 ユグoslavija

II大戦 (1939~41年)

ドイツ
 フランス
 イタリア
 ユーゴスラビア
 セルビア
 モンテネグロ
 X
 41年
 セルビア
 モンテネグロ
 セルビアの大敗北
 100万
 [木曜の夜]
 ユグoslavija
 指導者チトー(クロアチア人)
 抵抗主体=セルビア人

共産主義者同盟 中軸及びジョシヴィチアン闘争
 オーストリアの同結

45年(終) ユーゴスラビア連邦人民共和国
 旧 コソボはユーゴスラビア
 ・経営 企業自主管理 (→ 中軸権望)
 ・市場 マカニズム
 ・政治 非同盟中立路線
 ・西側との関係 100万の労働力移転
 ・YUGOSLAVIA 貿易の持権輸出の27%の運

(スロベニア (2万km² < 岩手県域)
 セルビア (10.2万km² > 北海道8.3万km²)
 モンテネグロ (1.4万 < 岩手1.5)

旧ユーゴスラビア 30万km² / 日本23万

45~60年代 社会主義全体「成長」
 生産の発展

ユーゴスラビア問題と関係
 明徳図書館 ユーゴスラビア (=Key Word) 15冊

柴 宜弘『バルカン史』(山川出版社)
 "『ユーゴスラビア現代史』(岩波新書)

N・ステファン『オーストリア戦争とヨーロッパ』(朝日新聞)
 M・ワイル

山崎佳代子『解体ユーゴスラビア』(朝日新聞)

ミシャ・ウレニ『ユーゴスラビアの崩壊』(白水社)

ユーゴスラビアについて